

教育実践フォロー制度

— 教える前に、子どもと向き合う力を育てる —

千葉美術アカデミーでは、
教育・保育・表現活動に関わる学生を対象に、
“知識だけでは身につかない、現場での感覚”
を学ぶ機会として
「教育実践フォロー制度」を行っています。

実際のワークショップに参加しながら、

- 子どもの反応を読む力
- 正解のない表現を支える感覚
- 声掛けや距離感
- 想定外への対応力
- 空間づくりや場の空気感

などを実践を通して学んでいきます。



なぜこの制度を行うのか

子どもとの活動は、
マニュアル通りには進みません。

「これを作りましょう」だけではなく、

- 急に素材遊びが始まる
- 友達と意見がぶつかる
- 途中で全く違う方向へ進む
- 言葉より先に身体が動く

そんな瞬間がたくさんあります。

私たちは、そうした“予定外”の中にこそ、
子どもの表現や成長があると考えています。

この制度では、大人が答えを与えるのではなく、

“子どもの発見と一緒に楽しめる人”

を育てることを目指しています。



ワークショップで体験できること

今回のワークショップでは、
麻バッグに自由に色を重ね、
素材を貼り合わせながら、
世界に一つだけのバッグを制作します。

絵を描くだけではなく、

- 素材の感触
- 色の重なり
- 偶然できる模様
- 「失敗」から生まれる表現

などを大切にしながら活動します。

学生スタッフも、
子どもたちと一緒に制作やサポートを行います。



千葉美術アカデミーが大切にしていること

私たちは、

「上手に作ること」よりも、

- やってみたい
- 触ってみたい
- 試してみたい
- なんか面白い

という気持ちを大切にしています。

完成作品だけではなく、
その過程にある試行錯誤や、
子どもたち同士のやり取りも、
大切な学びだと考えています。



こんな学生におすすめです

- 教育・保育に興味がある
- 子どもと関わる仕事を目指している
- 実際の現場を体験してみたい
- 表現活動やアート教育に興味がある
- 「正解のない教育」に触れてみたい



サポート体制

当日は、千葉美術アカデミースタッフが
学生と一緒に活動します。

活動後には、

- 子どもの反応
- 声掛け
- 難しかった場面
- 良かった関わり方

などを振り返る時間も設けています。
初めての参加でも安心して
ご参加いただけます。



学生紹介

千葉大学教育学部家庭科専攻 所属

将来は教員を目指しているので、
子どもたちと関わりながら、どんな声かけや活動が
子どもの発達につながるのかを学びたいと
思っています。

このワークショップでは、自分自身も楽しみながら、
たくさん学びたいです。よろしくお願いします！



主催：千葉美術アカデミー



地域協力：アストログループ